

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

・本整備計画に計上した全ての事業が完了(平成31年2月)後

(2) 評価の方法

・本市教育委員会事務局において、事後評価を行った。

4. 総合的な所見

・本整備計画に計上していた事業は、すべて計画通りに実施することができた。
・非構造部材の耐震化対策については、引き続き、重点項目として推進していくこととする。
・学校施設の改修及び長寿命化については、「学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的に実施していくこととする。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

・東大宮中学校、広瀬北小学校、瓜生野小学校の屋内運動場は、建築後30年以上経過しており、老朽化が深刻であったので、抜本的な整備を行うための大規模改造(老朽)工事を実施した。
・宮崎東中学校及び檜中学校は、設備の長寿命化を図り、衛生環境を改善するために、老朽化したトイレの改修工事を実施した。

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

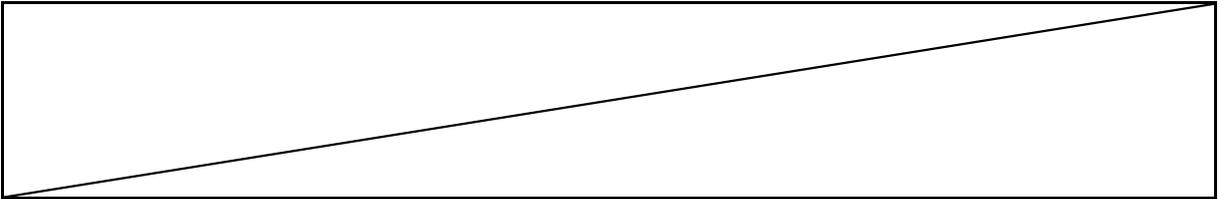
【所見】

・古城小、本郷小、宮崎港小、本郷中、住吉中、宮崎南小、広瀬小、広瀬西小、佐土原中の校舎において、非構造部材の耐震化を図るために、校舎の外壁落下防止対策工事を実施した。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】



(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

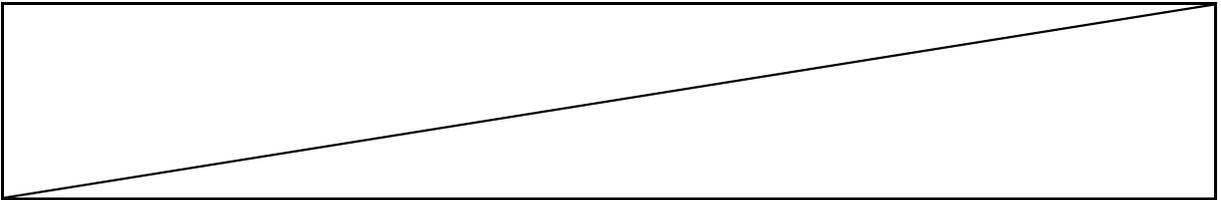
【所見】

小戸小学校、宮崎東中学校、檉中学校について、衛生環境の改善及びトイレの長寿命化を図るために、校舎内トイレの改修工事を実施した。

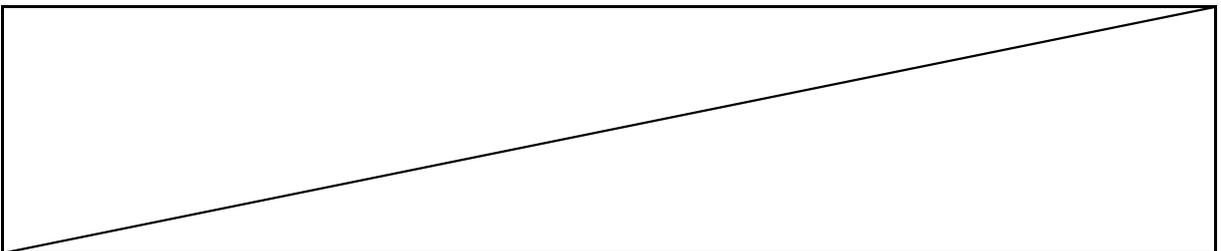
(5) 施設の特徴に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】



6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況



(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
古城小学校	(2)	36	防災機能強化	校	-	H27.10～H28.2	H28.3.10		
本郷小学校	(2)	36	防災機能強化	校	-	H27.10～H28.2	H28.3.7		
本郷小学校	(2)	36	防災機能強化	校	-	H28.12～H29.5	H29.6.13		
宮崎港小学校	(2)	36	防災機能強化	校	-	H27.10～H28.2	H28.3.9		
住吉中学校	(2)	36	防災機能強化	校	-	H27.10～H28.3	H28.3.24		
住吉中学校	(2)	36	防災機能強化	校	-	H28.12～H29.5	H29.6.9		
本郷中学校	(2)	36	防災機能強化	校	-	H27.10～H28.2	H28.3.11		
東大宮中学校	(1)	06	大規模改造(老朽)	屋	RS	H27.6～H28.1	H28.1.29		
小戸小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H28.6～H28.10	H28.10.31		
宮崎東中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H28.6～H28.10	H28.10.27		
	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H29.6～H29.10	H29.11.10		
櫛中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H29.6～H29.11	H29.11.16		
広瀬北小学校	(1)	06	大規模改造(老朽)	屋	R	H29.6～H30.2	H30.2.27		

